

## 第3章 計画の基本方針

### 第1節 熊谷市が目指す高齢社会の将来像

本市が目指す高齢社会の将来像について、高齢期を迎えても安心して暮らせる社会にするために、熊谷市総合振興計画の方向性、令和8年度までの前回計画の継続性、高齢社会を取り巻く環境変化等を踏まえ、以下のとおりとします。

**いきいきあんしん 共生と持続のまち くまがや**

#### 具体的には

- ・高齢者一人一人が、自ら継続的に健康づくりや介護予防に取り組んでいる社会
- ・高齢者一人一人が、自ら生きがいを創り出し、その能力を活かして地域活動に参画し、社会の担い手として活躍している社会
- ・全ての世代が互いに支え合い、多世代・地域・行政・専門職が密接に連携することで、生活機能が低下した高齢者を地域全体で継続的に支援できる社会
- ・高齢者一人一人の尊厳が守られ、安全で快適な環境の中で、どのような状態にあっても孤立することなく、その人らしい人生を最後まで全うできる社会

## 第 2 節 基本理念

---

本市が目指す高齢社会の将来像や高齢社会を取り巻く環境変化等を踏まえ、本計画推進の根幹となる基本理念を、以下のとおり設定します。

### 理念 1 健康と生きがい

- 高齢者が自ら心身の健康維持と介護予防に取り組み、生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう支援します。

### 理念 2 地域参画と生涯活躍

- 高齢者が豊富な知識や経験、能力を活かし、社会の担い手として地域活動に参画し、生涯現役で活躍できるよう支援します。

### 理念 3 地域共生

- 全ての世代の市民、行政、民間事業者、専門職がともに連携し合い、地域社会全体で高齢者を支える重層的かつ持続可能なネットワークづくりを進めます。

### 理念 4 尊厳と自立・選択

- 介護予防事業の推進とともに、高齢者の尊厳が守られ、その人らしい人生を自ら選択し、最後まで全うできる権利擁護の体制づくりを進めます。

## 第3節 基本目標

本市が目指す高齢社会の将来像の実現に向け、基本理念に基づき、本計画で目指す基本目標を以下のとおり設定します。

### 目標1 あたたかい心の通う健康で生涯活躍できるまちをつくる

－生きがい・地域参画づくりの推進－

□高齢者が、いつまでも健康で生きがいを持って、地域活動や社会貢献などに積極的に参加でき、生涯活躍できる自立した生活を送ることができるまちをつくれます。

□高齢者を取り巻く周囲の方の意識の向上や、ボランティアの育成など、地域でつながり支え合う、あたたかい心の通うまちをつくれます。

### 目標2 住み慣れた地域で尊厳を持って安心して暮らせる持続可能なまちをつくる

－生活支援・地域共生の推進－

□支援が必要な高齢者が、安心して生活できる福祉サービスの充実を図り、一人暮らしの高齢者や、認知症高齢者とその家族を始め、だれもが地域で安心して暮らせるまちをつくれます。

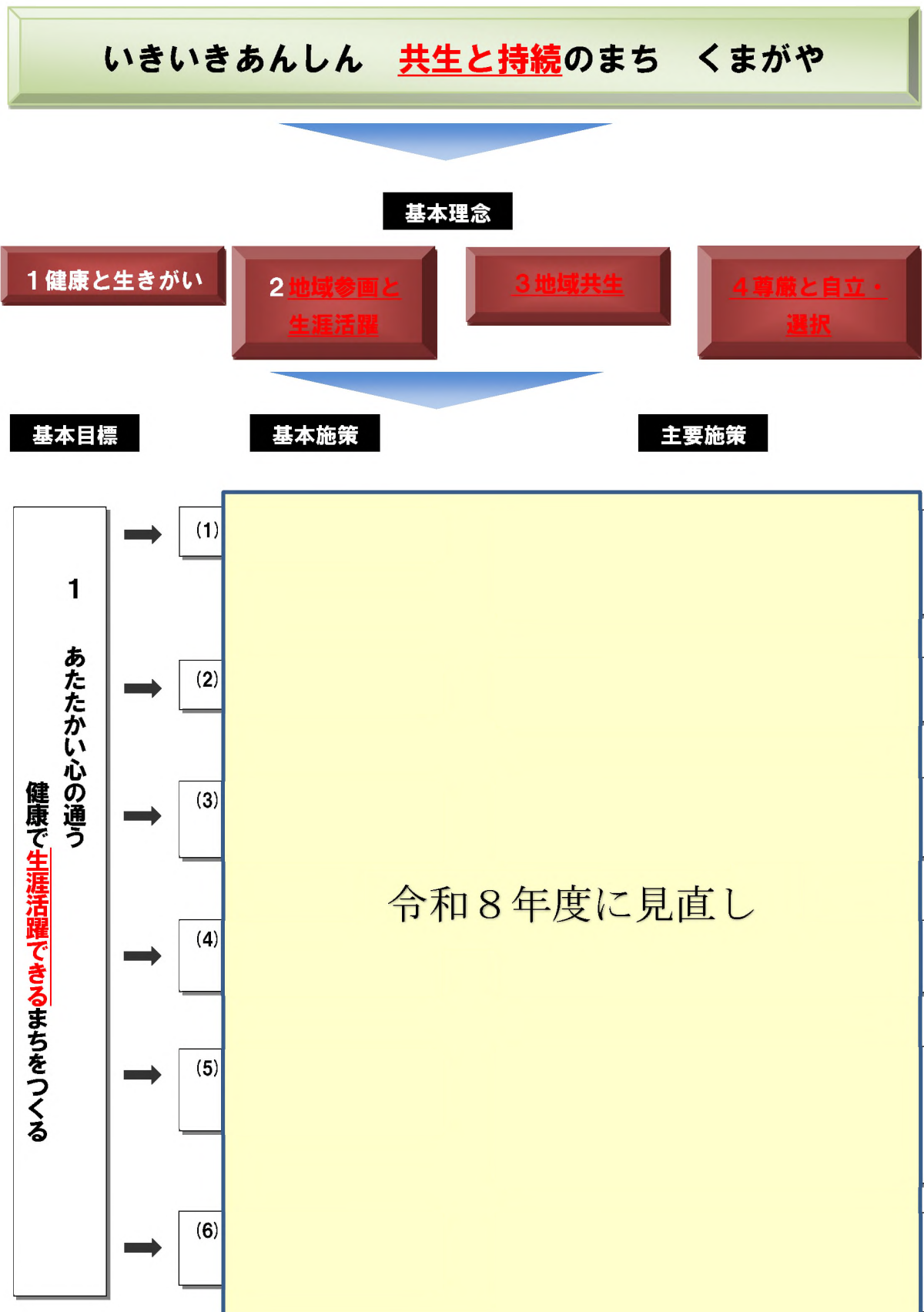
□多世代・地域・行政・専門職が密接に連携し、地域社会全体で高齢者を支えられる持続可能なまちをつくれます。

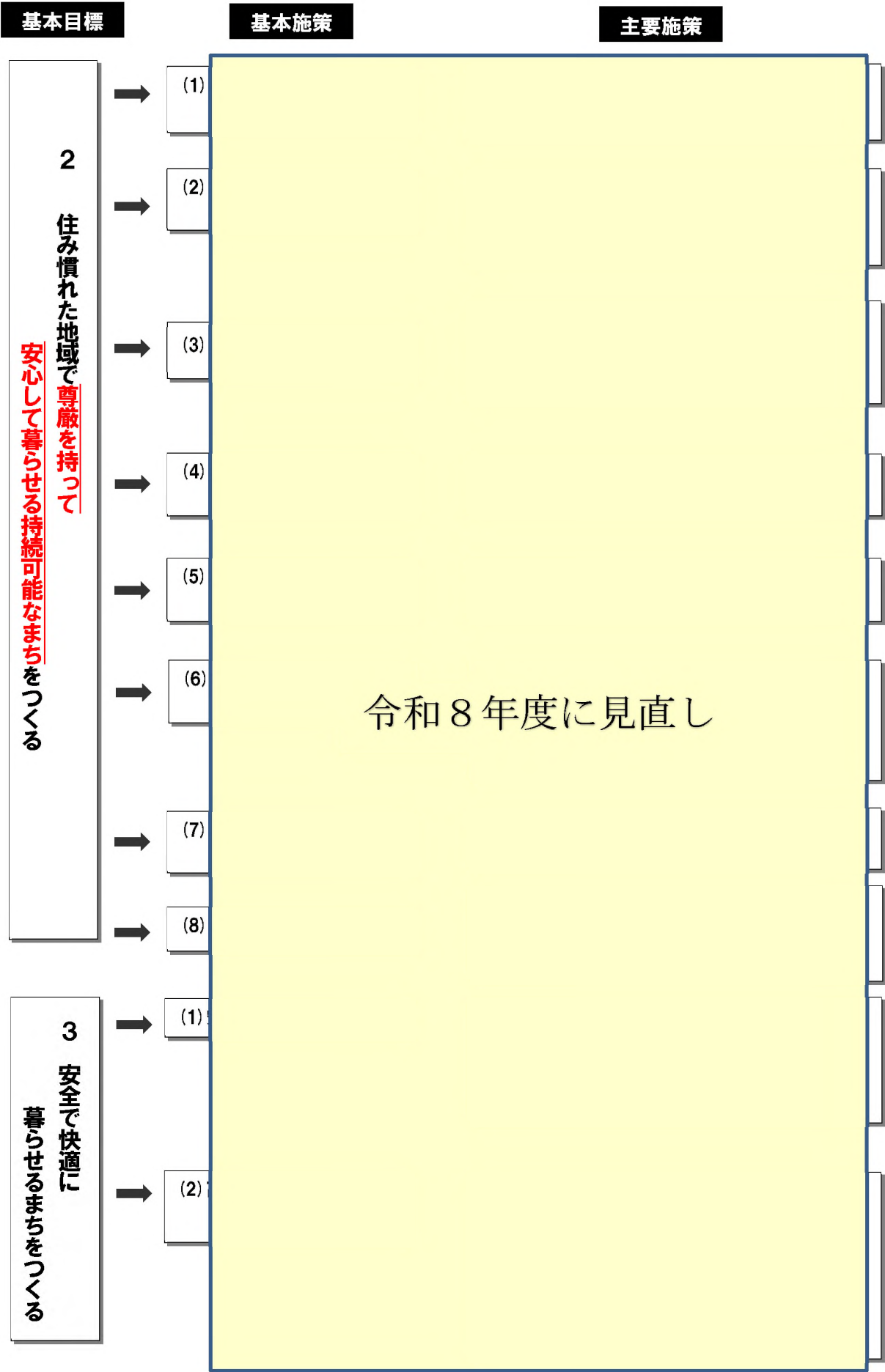
### 目標3 安全で快適に暮らせるまちをつくる

－住宅・生活環境整備の推進－

□高齢者が、社会生活の様々な場面で、安全で快適に暮らせるよう、まちづくりや、施設・住居の整備、交通安全、防犯及び防災の対策など、生活環境の整備を進め、高齢者にやさしいまちをつくれます。

## 第4節 施策の展開（施策体系）







## 修正理由

### 1. 将来像の修正について

将来像については、「元気で長寿」という言葉を「共生と持続」に修正します。

これは、決して「元気」や「長寿」を否定するものではなく、一人一人が元気で長生きすることは不変の願いであり土台となるものですが、『高齢社会対策大綱（内閣府、R6.9.13 改正）』や本市の各種計画類との整合性を踏まえ、「①今後高齢者の割合がさらに大きくなる中で全世代がつながり合い支え合って地域を創っていく必要があること」、「②そのような地域社会を未来に持続させていかなければならないこと」を表現するために、「元気で長寿」という個人寄りの言葉から「共生と持続」という地域社会全体寄りの言葉へと修正するものです。

なお、前段の「いきいきあんしん」は、高齢者が社会で活躍している状態や快適に暮らしている状態といった、良い状態を表す核となる言葉として、このまま継続使用したいと考えます。

以上により、全体として、個人と地域をバランス良く取り入れた、時代に合った将来像になると考えます。

### 2. 基本理念の修正について

修正後の将来像や高齢社会を取り巻く環境変化等を踏まえ、次のように修正します。

#### 理念1 「健康と生きがい」 → 変更なし

※土台となる理念でありこのまま継続

#### 理念2 「生涯現役」 → 「地域参画と生涯活躍」

※高齢者の活躍の場を、自身の就労や趣味活動という範囲だけでなく、さらに、地域活動といった社会的役割を持つものへと拡大し、社会の担い手・支える側としての充実感や生きがいも感じていただくことを表現するため。

#### 理念3・4 「支え合い・連携」 → 「地域共生」

※手段寄りの言葉を、より理念的で今後目指していくべき地域共生社会を明確に表す言葉に変更。

#### 「自立と選択」 → 「尊厳と自立・選択」

※孤立を防ぎ、最期までその人らしい人生を全うしてほしいことを表現するため、「尊厳」という言葉を付け足した。

※理念3・4の位置を入れ替えたが優劣変更の意図はない。

### 3. 将来像（具体化）及び基本目標の修正について

将来像や基本理念の修正に伴い、将来像（具体化）、基本目標及びそれらの説明文についても、整合するように修正を行います。